

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<1週> 麻疹 - 例年の同時期と比べ定点当たり報告数がかかなり多い/  
その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<インフルエンザ> 第1週のインフルエンザ患者報告総数は1,143



病原体情報  
P.5

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウ  
イルスおよびSRSV検出報告



速報  
P.6-7

セラチア院内感染事例 - 堺市 / 寿司店を感染源とした赤痢の集  
団発生事例 - 愛媛県



海外感染症情報  
P.8

ブルンジでマラリア大流行の懸念 / ドミニカ共和国およびハイチ  
でワクチン株からのポリオ流行 - 更新 / 他



感染症の話  
P.9-11

ヒストプラズマ症  
国内感染例が疑われる報告もあり、日本  
での存在を疑われる危険な真菌感染症  
として重要性の認識が必要



読者のコーナー  
P.12



グラフ総覧(1週)  
P.13-19



1週のデータ  
P.20-27



# 発生動向総覧

第1週コメント 1月15日集計分

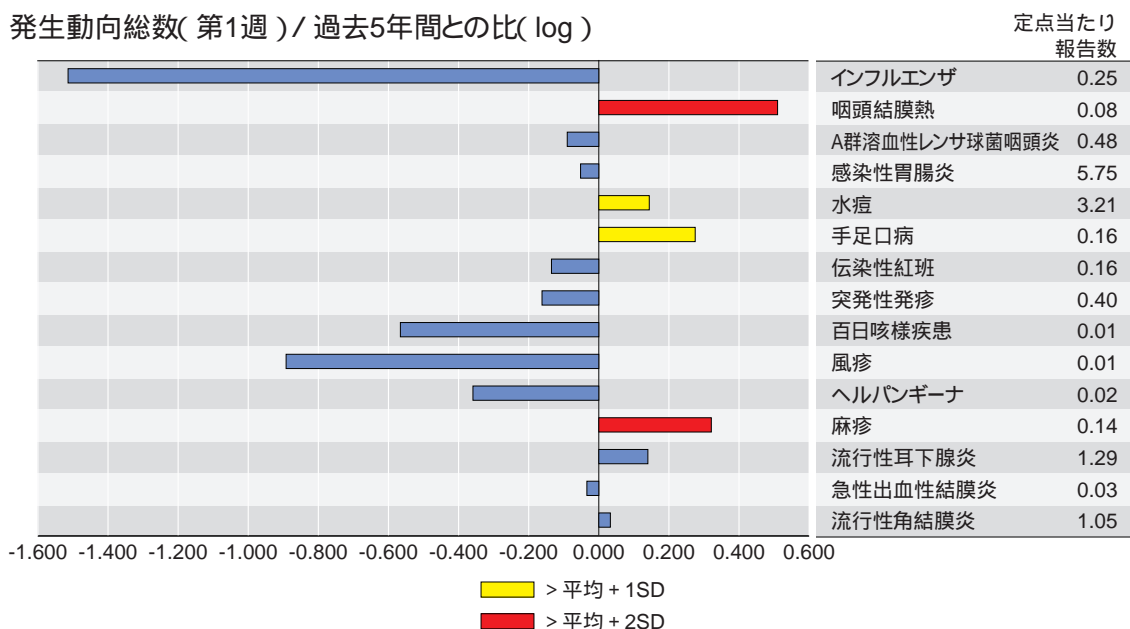
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例( 推定感染地: マレーシア )、細菌性赤痢5例( 推定感染地: 国内1例、タイ2例、インド1例、フィリピン1例 )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症9例
- 4類感染症: ツツガムシ病1例  
 後天性免疫不全症候群2例( AIDS1例、無症候性キャリア1例 )  
 感染経路\_異性間性行为感染2例  
 梅毒4例( 早期顕症2例、無症候2例 )

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

水痘の定点当たり報告数が例年に比べやや多くなっており、新潟県で6.5、宮崎県で6.2、島根県で5.3となっている。咽頭結膜熱は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている( 13ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照 )。麻疹は例年の同時期と比べ定点当たり報告数がかなり多く、とくに高知県、奈良県、鹿児島県、福岡県などで定点当たり患者数が多くなっている。インフルエンザの活動性はまだ低く、全国平均で定点当たり報告数0.25となっている。

発生動向総数( 第1週 ) / 過去5年間との比( log )

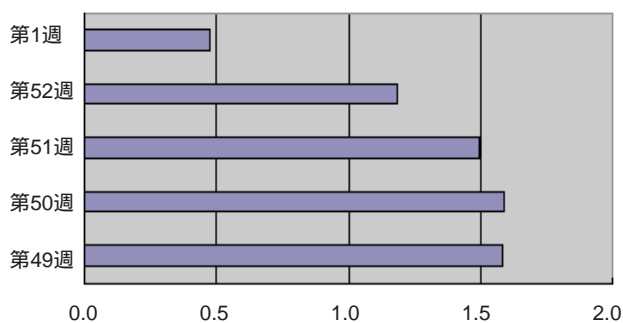


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 ) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

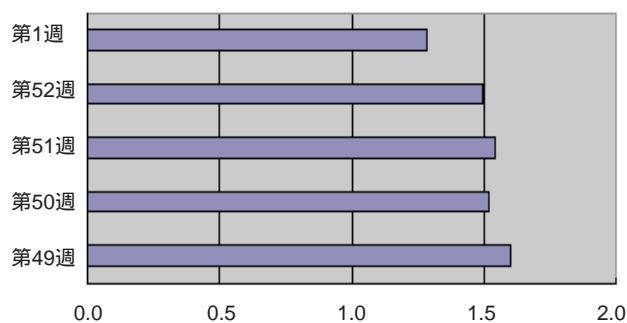
## 最近の注目疾患-5週間の動き

2001年第1週は年始のため医療機関の休診などに伴い、ほとんどの定点把握疾患で報告数が減少している。このような状況にも関わらず、水痘の定点当たり報告数は増加傾向にある。また、流行性角結膜炎の定点当たり報告数は前週とほぼ変わっていない。

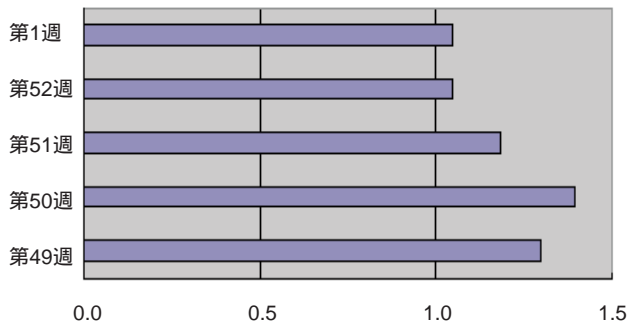
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



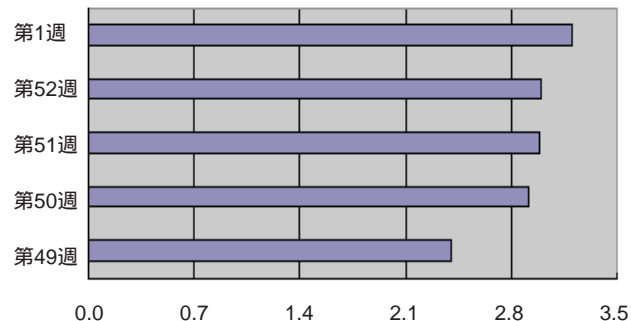
流行性耳下腺炎



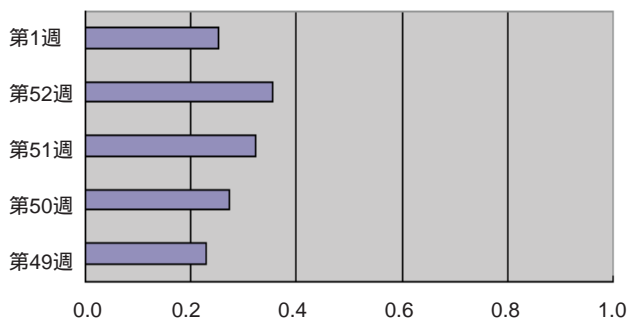
流行性角結膜炎



水痘



インフルエンザ



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

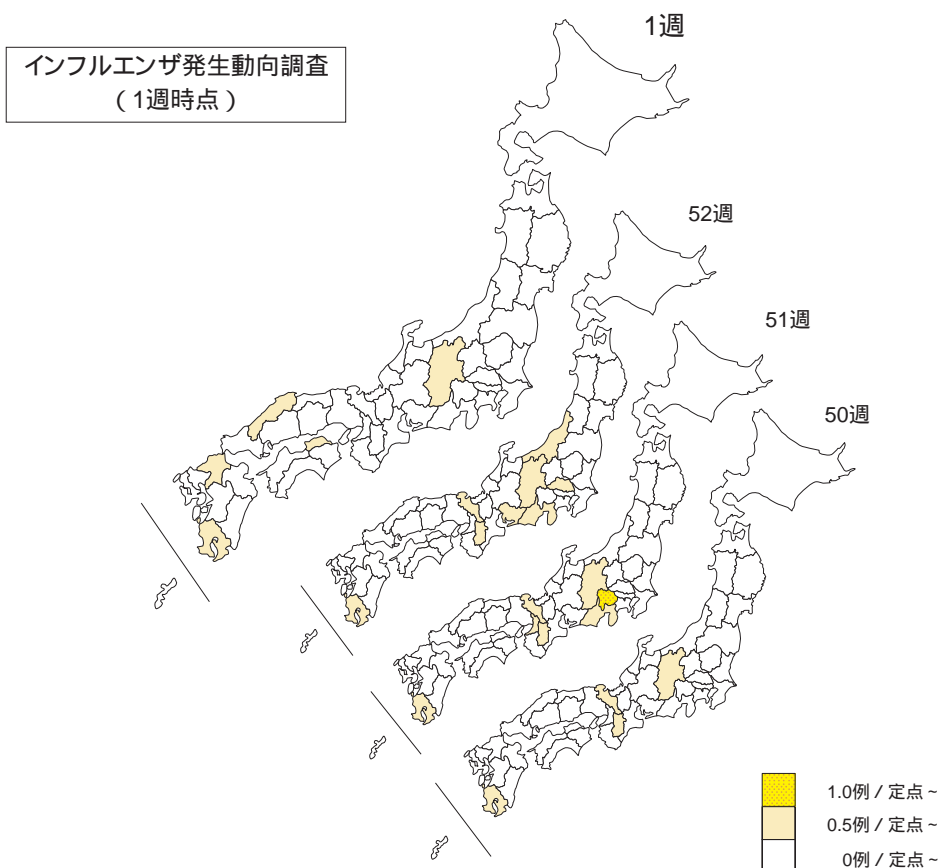
## インフルエンザ流行状況

1999年4月に施行された感染症法のもとでのインフルエンザサーベイランスは、インフルエンザウイルス感染による急性気道感染症を対象とし、「届出のための基準」にもその点が明記されている。また、インフルエンザ定点として約3,000の小児科定点に加え、成人の罹患状況の把握を目的として新たに内科定点2,000が加えられ、計5,000定点からの報告に基づいている。

我が国でのインフルエンザの流行期はおおむね例年11月から3月であり、最近5シーズンでは1月下旬～2月上旬ごろにピークをむかえている。現在国で行われているインフルエンザ関連サーベイランスとしては、1)感染症発生動向調査(患者発生および病原体)、2)インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)、3)インフルエンザ関連死亡数などがあり、その他に流行予測事業においてシーズン前の国民のインフルエンザ抗体保有状況調査が行われている。

2000/2001シーズンのインフルエンザ患者発生は現在のところ、流行開始の指標と考えられる閾値(定点当たり報告数1.0)に達しておらず、インフルエンザ流行の活動性は低い。2001年第1週のインフルエンザ患者報告総数は1,143で、この1週間の1医療機関当たりの平均インフルエンザ患者受診数(定点当たり報告数)は0.25であった。(都道府県別患者発生状況については下図参照。インフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては5ページ病原体情報参照。)

厚生労働省健康局結核感染症課のまとめによると、インフルエンザ様疾患発生報告数における学校欠席者数は、平成12年10月29日から平成13年1月6日までの累計で660人であり、昨年同期の9,772人に比べ10分の1以下となっている。





# 病原体情報

(2001年1月11日現在報告分)

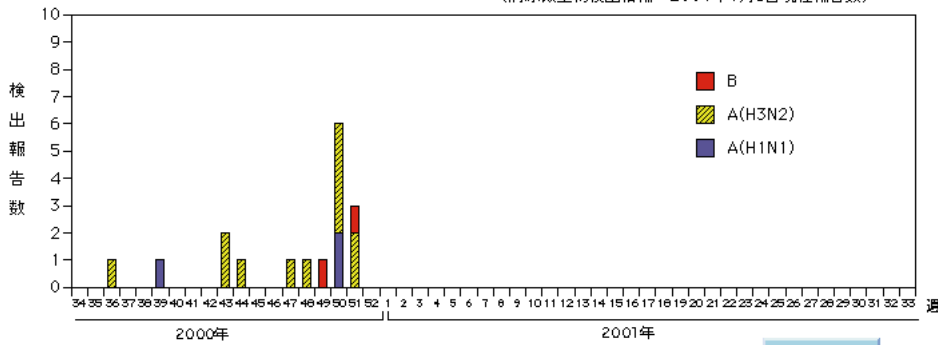
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

## インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離・検出は、A/香港(H3N2)型が広島県(第36週)1件の分離、愛知県3件(第43、44週)の検出、神戸市(第47週)、埼玉県(第48週)、大阪府(第50週)各1件の分離、新潟県3件(第50週)、鹿児島県2件(第51週)の分離、A/ソ連(H1N1未同定)型が横浜市(第39週)1件の検出、静岡県(第50週)、新潟県(第50週)各1件の分離、B型は静岡県(第49週)、長崎県(第51週)各1件の分離が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン

(病原微生物検出情報: 2001年1月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



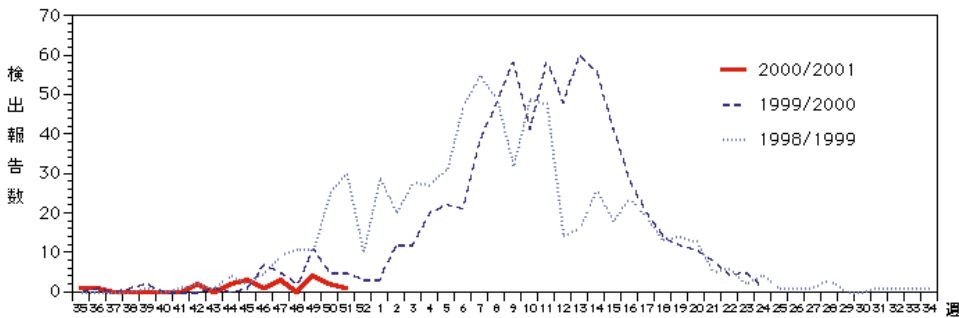
Infectious Agents Surveillance Report

## 感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は、香川県4件、岩手県、新潟県各3件、東京都、大阪府、大阪市各2件、山梨県、愛知県、岡山県、広島県各1件が報告され、またSRSVの検出は、山形県27件、岩手県23件、北九州市20件、新潟県19件、大阪市18件、栃木県8件、千葉市、滋賀県各6件、仙台市5件、広島県4件、岡山県、愛媛県各3件、東京都、石川県、大阪府各1件の報告がされている。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報: 2001年1月11日現在報告数)



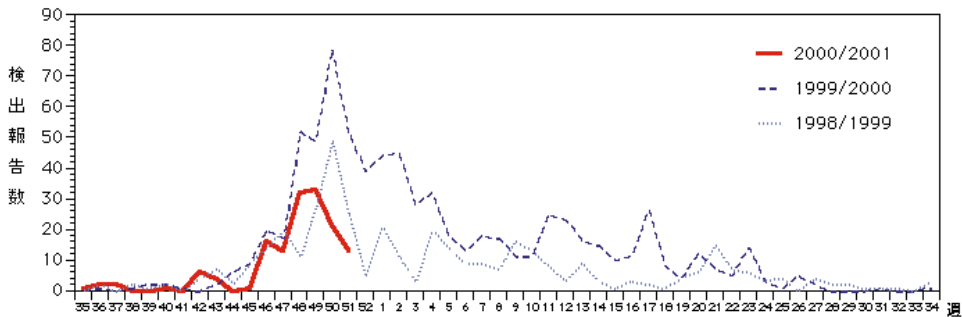
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報: 2001年1月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report





## セラチア院内感染事例 - 堺市

平成12年6月30日、堺市保健所は市内のM病院より「同一病棟において3名のセラチアによると思われる敗血症例が発生し、うち1名が死亡した。」との院内感染疑い事例発生の報告を受けた。保健所は同日M病院に対して立ち入りを行い、直ちに実態解明に向けた調査を開始した。平成12年5月～6月にかけて5病棟にわたって15名のセラチア陽性患者が認められており、調査期間中にうち8名の死亡を確認し、感染拡大防止目的でのセラチア陽性者の隔離等の指導を調査と並行して行った。7月19日からは国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース(FETP)の要員4名も実地調査に加わり、M病院に対する疫学調査は8月18日まで行われた。以下に、今回の事例に対する調査によって得られた結果の概略を示す。

平成12年5月～6月の間のセラチア陽性入院患者15名のうち血流感染者は5名であり、全員が死亡していた。そのうち4名は調査の結果、先行する他部位でのセラチア感染巣の認められない一次性血流感染と判定された。4名中3名は同一の病棟に入院し、6月の5日間に相次いでセラチアによる敗血症を発症していた。死亡者の中で唯一菌株が得られたこの3名由来のセラチアに対するパルスフィールドゲル電気泳動法(PFGE)によるDNA解析では、その泳動パターンは一致しており、これらは同一の感染源による集団感染と結論された。3名に共通する点滴・注射薬やその実施者は調査の結果認められず、感染伝播経路を解明するには至らなかった。ただ、3名に共通するものとして、末梢静脈留置針・留置経路の比較的長期間の留置(7、12、13日間)があり、同経路の汚染が感染原因である可能性が高いと考えられた。

平成11年7月から平成12年6月の1年間にM病院の入院患者中71名から、計226検体のセラチアが分離されていた。内訳は喀痰陽性52名、血液検体陽性10名、中心静脈留置カテーテル由来検体陽性2名等であった。その中の52名の喀痰陽性例をもとに、セラチアの呼吸器系への定着・感染を起こす危険要因を明らかにするために、症例対照研究が行われた。その結果、呼吸器系への治療及びケアであるネブライザーの使用、口腔・鼻腔吸引操作、気管内挿管、人工呼吸器装着や、さらに宿主側の要因である高齢(80歳以上)、中心静脈栄養カテーテル留置、尿道カテーテル留置、寝たきり、などが危険因子としてあげられた。その中で、特に呼吸器系への医療行為である超音波ネブライザーの使用、口腔・鼻腔吸引、そして口腔ケアについては、その行為の期間及び頻度が危険度と関連していた。超音波ネブライザー薬液内からは複数回の検索においてセラチアが検出されており、セラチア感染の伝播経路であった可能性が高いと考えられた。

医療行為及び手技の観察・聞き取りの結果からは、末梢静脈留置針・留置経路の維持・管理法、超音波ネブライザーの消毒・管理・運用方法、口腔・鼻腔吸引操作手技の他に、50%イソプロピルアルコール浸漬綿の管理・運用方法、ガウンテクニック及びガウンの保管・保清方法、点滴作成場所の保清、そして手洗い手順とその基準等について、それぞれ問題点が指摘された。

以上より、M病院では平成12年6月に3例のセラチアによる院内集団感染が発生し、また平成11年7月から平成12年6月にわたって呼吸器系へのセラチア院内感染の可能性があったとの結論に達した。

上記調査結果及び専門調査班からの勧告を受けて、堺市ではM病院の院内感染対策委員会の活動を支援すると共に、同委員会が活発に活動し、同委員会が作成した院内感染管理基準が着実に実施されているかを見守っている。また、市内の医療機関における院内感染対策のレベルアップを支援し、そのネットワーク化を目指して活動を行っている。

なお、本事例の専門調査班報告書(平成12年9月3日付)は堺市のホームページ上(<http://www.city.sakai.osaka.jp/>)で閲覧可能である。さらに堺市では平成12年12月に「セラチアによる院内感染事例報告書」を発行した。調査の詳細についてはこちらを参照されたい。全国の行政機関には広く配布予定であるが、希望があれば実費にて購入可能(窓口:堺市市民環境局市民生活部)

市政情報センター TEL 0722-28-7439 )である。

堺市保健所 岡澤昭子 安井良則 池田和功 今井龍也  
 堺市衛生研究所 田中智之  
 国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース( FETP )  
 中瀬克己 藤井逸人 ミカエル クレーマー  
 国立感染症研究所感染症情報センター 高橋央 岡部信彦

( IASR 2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )

## 寿司店を感染源とした赤痢の集団発生事例 - 愛媛県

愛媛県内の専門学校の生徒7名が平成12年10月16日夜半から17日未明にかけて発熱、下痢、腹痛、全身倦怠感を訴え、10月17日、医療機関を受診(3名が入院)した。診察した医師から、患者全員が市内の寿司店で寿司を食べていたことより食中毒の疑いが高いと判断し、15時40分に保健所に通報があった。保健所は食中毒と推察し、発症した学生4名(入院患者を除く)と寿司店従業員2名の喫食状況等の調査や検便を行うとともに寿司店の調査を実施した。10月18日、保健所は食中毒(疑い)が発生したことを公表し、10月19日に学生、従業員の計6名から赤痢菌( *Shigella sonnei* )が分離されたので、同店を起因とした集団食中毒と断定し、同店を営業禁止とした。

患者の発症状況等から暴露日は14日から19日(16日休業)の5日間と推測したが、報道機関を通じた一般住民への情報提供を行うとともに保健所に相談窓口を開設し、10月1日以降の同店での喫食者の把握と検便及び二次感染防止対策を講じた。その結果、13日までの喫食者からは食中毒患者は認められず、14日から19日の5日間に寿司店で寿司を食べた人数は205名(相談窓口で把握した数)で、全ての情報源から判明した食中毒患者数は103名であった。一方、感染症法に基づく赤痢患者等の届け出は10月19日から10月28日までに61名あり、その内訳は県内43名、県外18名(愛知県1、大阪府1、兵庫県3、島根県4、岡山県2、広島県5、高知県1、大分県1の1府7県)であった。この61名の内訳は、赤痢患者37名(うち1名は二次感染者)、疑似症患者17名(うち5名は二次感染者、4名については診断後に菌検出)、無症状病原体保菌者7名であった。

衛生環境研究所において、愛媛県、島根県、岡山県、広島県、広島市、高知県で分離された菌株を収集し、12種類の抗菌剤( ABPC、TC、CP、SM、KM、GM、CTX、CPFX、FOM、TMP、ST、NA )に対する耐性パターンを観察したところ、いずれの菌株とも同じパターン( SM、TC、TMP、ST、4剤耐性 )を示し、制限酵素 *Xba*I を用いた PFGE 型別においても同一パターンであった。

今回の赤痢菌( *S. sonnei* )による集団食中毒事例は、患者等の発生状況、喫食調査、細菌学的検査の結果から、赤痢菌に感染した寿司店従業員の握った寿司を喫食することにより発生拡大したことが判明したが、従業員への感染経路については特定することができなかった。

愛媛県立衛生環境研究所 田中 博 芝 美和 大瀬戸光明  
 愛媛県今治中央保健所 土井光徳

( IASR 2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

### ブルンジでマラリア大流行の懸念

WHO/WER 2001年1月5日

ブルンジ北部の高原地域でマラリアの流行により推定276,000人がマラリアに罹患している。2000年11月末までに、115人の死亡者が公式に発表された。

専門家は、1月から始まる4カ月間の雨季により患者が大量に発生するのではないかと懸念している。ここ何年かは、この時期になると患者が倍増していた。

Kayanza州の診療所が11月中旬に収集したデータによると、全人口200,400人のうち21,000人がマラリアに罹患しており、1999年の同時期と比較すると500%以上の増加であった。Kayanza州の保健センターの患者の80%が熱帯熱マラリアに感染していることが、検査室検査で示されている。

WHOはこの流行でのクロロキン耐性マラリアに対して、スルファドキシシ / ピリメタミン合剤の単独による治療を推奨している。



### ドミニカ共和国およびハイチでワクチン株からのポリオ流行 - 更新

Health Canada 2000年12月29日

ドミニカ共和国およびハイチの保健省と汎アメリカ保健機関( PAHO )は、2000年7月12日から12月8日までにSabin1型の経口ワクチンから派生した株による患者7人を確認した。

### ウガンダのエボラ出血熱 - 更新

WHO/CSR 2001年1月9日

ウガンダ保健省は1月9日にGulu地区でエボラ出血熱確定診断患者1人を報告した。この患者はすでに死亡したが、以前の患者と濃厚な接触があったことが確認されている。Guluでの累積の発生患者数は死亡者150人を含む395人である。

Masindi地区では2000年12月19日以降に新たな確認患者は報告されていない。累積の発生患者数は死亡者19人を含む27人のままである。

### 南アフリカのコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2001年1月9日

Kwazulu-Natal保健省は2000年8月中旬から始まった流行で、1月8日までに15,983人のコレラ患者と60人の死亡者を報告した。





## 感染症の話

### ヒストプラズマ症( Histoplasmosis )

ヒストプラズマ症は輸入真菌症の一つで、日本を除き世界的にみられる。3種類の原因菌があり、それぞれの感染により病名はカプスラーツム型ヒストプラズマ症( *histoplasmosis capsulati* )、ズボアジ型ヒストプラズマ症( *histoplasmosis duboisii* )、ファルシミノースム型ヒストプラズマ症( *histoplasmosis farciminosi* )と呼ばれている。ただし、カプスラーツム型とズボアジ型との違いは、後者がアフリカ大陸でみられ、感染組織内の酵母細胞が前者のそれに比べて大きく( 直径8～15 μm ) 組織内に多数の巨細胞が出現してくるとい以外は、分離菌の間に菌学的( 形態的 ) な違いはない。また、ファルシミノースム型はウマ、ロバ等四足獣の病気である。

#### 疫 学

現在までに本邦で27例の報告がある。以前、日本での感染例はないと思われていたが、最近国内感染例が疑われる患者が報告されはじめてきた。本症は細胞性免疫機能が低下した患者、特に臓器移植やエイズの患者に発症例が多く、重篤となる。

カプスラーツム型ヒストプラズマ症の原因菌は *Histoplasma capsulatum* variety *capsulatum* Darling 1906で、世界中の熱帯、亜熱帯、温帯地域で発生している。特に米国のミシシッピ川流域に報告例が多い。本菌は通常菌糸状で発育するが、感染組織内では酵母状発育をする( 二形性真菌 )。菌糸状発育で形成された大、小の分生子を吸入することにより肺感染を起こすが、多くの場合良性に経過し、自然治癒する。しかし、細胞性免疫機能が低下している患者では病状は進行し、全身性となる。本邦報告例のうち、興味ある2例を示す。1つは米国テキサス州の黒人から死体腎の移植を受けた患者が全身性ヒストプラズマ症を起こして死亡した例、もう1つはテレビ取材班がアマゾンの洞窟内の撮影を行ったとき、コウモリの糞に付着していた *H. capsulatum* を吸い込み8名全員が感染した事故である。なお、本菌のテレオモルフ( 有性世代 )は *Ajellomyces capsulatus* McGinnis et Kats 1979である。

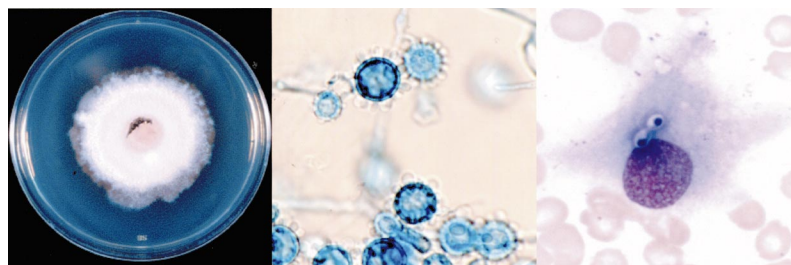
ズボアジ型ヒストプラズマ症の原因菌は *Histoplasma capsulatum* var. *duboisii*( Vanbreuseghem ) Ciferri 1960で、本症は主にアフリカ大陸で報告されている。本菌のテレオモルフは *H. cap.* var. *cap.* と同じである。ファルシミノースム型ヒストプラズマ症の原因菌は *Histoplasma farciminosum* Ciferri et Redaelli 1934で、エジプト、スーダン、インド、東欧諸国、旧ソビエト連邦で主にみられ、ウマ、ロバ等の頸部や脚のリンパ管やリンパ節が特異的に侵される。菌学的には *H. capsulatum* と区別できない。四足獣から分離されたという事実によってのみ同定される。

#### 病原体

*H. capsulatum* は土壌真菌で、ヒバリ、コウモリ等の糞に好んで発育する。27 での発育は遅く、集落は粉状から綿毛状となる。初めは白色で次第に黄褐色を帯びてくる。裏面は黄色あるいは黄橙色を呈する。

顕微鏡的には分生子柄( conidiophore ) および、短い菌糸側枝の先端に大、小の分生子( conidium )が形成される。大分生子( macroconidium )は直径7～25 μm、球形または西洋梨形で

ある。細胞壁は厚く、表面には多くの指状の突起がみられる。小分生子(microconidium)は直径2～6 μm、球形あるいは西洋梨形である。1%ブドウ糖を添加したブレイン・ハート・インフュージョン寒天(brain



左から*Histoplasma capsulatum* variety *capsulatum* の巨大集落、大分生子、血液中の酵母細胞

heart infusion agar)を用い137℃で培養すると、白色～淡黄色の酵母様集落を形成する。酵母細胞は球形または卵円形、直径2～4 μmである。

病理組織では著しい肉芽腫性炎症反応が特徴的である。これら肉芽腫を形成している組織球は、細胞性免疫不全の場合、取り込んだ酵母細胞を殺すことが出来ず、菌は組織球内で増え続ける。

### 臨床症状

1. 急性肺ヒストプラズマ症 acute pulmonary histoplasmosis  
一過性にインフルエンザ様症状を呈し、自然治癒する。
2. 慢性肺ヒストプラズマ症 chronic pulmonary histoplasmosis  
結核に似た症状を示す。特に、形成された空洞は結核によるそれとの鑑別が難しい。
3. 全身性ヒストプラズマ症 systemic histoplasmosis  
急性型は小児に発症しやすく、死の転帰を取ることが多い。*H. capsulatum* が繁殖している洞窟や納屋に入り、多量の分生子を吸入した結果起こる。慢性型は細胞性免疫不全の患者に発生しやすい。
4. 眼ヒストプラズマ症 ocular histoplasmosis  
血行散布により二次的に発症する。特に乳頭部周辺および網膜が侵されやすい。

### 病原診断

1. *H. capsulatum* の分離同定  
喀痰、膿、生検材料よりの*H. capsulatum* の分離は当然のことながら、隔離された安全キャビネット内で行われなければならない。本症は菌分離率が低いことが確定診断の妨げとなっている。国内症例の27例のうち、6例のみ菌が分離されている。27℃で、サブロー・ブドウ糖寒天培地、血液寒天培地、1%ブドウ糖添加ブレイン・ハート・インフュージョン寒天などを使用し、4週間まで観察することを推奨する。また、材料をブレイン・ハート・インフュージョン液体培地に浮遊させ、振盪

培養後、平板培地に接種すると菌分離率が向上する。

本菌の同定の決め手は特徴的な大分生子の確認である。載せガラス培養をしなくても、ラクト・フェノール・コットンブルーで固定・染色した掻き取り標本の観察で確認できる。また、37℃における酵母様細胞の確認も有用であるが、分離株によっては温度依存性の二形性を取らないこともある。

## 2. 病原組織学的診断

組織内で *H. capsulatum* が直径2～5 μmの酵母形として細胞内寄生しているのを確認する。PAS染色、GMS染色陽性である。

## 3. 免疫学的診断

免疫反応用抗原としてヒストプラスミン (histoplasmin) による皮膚(内)反応が有用とされてきたが、眼ヒストプラズマ症を刺激すると言われているので、使用には注意を要する。また、不顕性感染等の既往歴がある者は陽性となるので、流行地に居住した成人には有用でない。

抗体検出法には補体結合反応 (CF) と免疫拡散法 (ID) があるが、プラストミセス症、コクシジオイデス症、パラコクシジオイデス症との交差反応により陽性に出ることがあり、注意が必要である。

抗原検出法には血清、尿、髄液等から多糖体抗原をRIAで測定する方法がある。AIDS患者には有用であるが、急性肺ヒストプラズマ症では検出できないことが多い。

ベータ-1,3-グルカン (β-1,3-glucan) を検出するキットもヒストプラズマ症に反応するといわれている。

## 4. PCRによる *H. capsulatum* 遺伝子の検出・同定

本菌の遺伝子をパラフィン包埋した組織より抽出して検出する方法がほぼ確立している。また、培養菌体を固定してDNAを検出し、遺伝子シーケンスにより同定することはすでに可能である。

## 治療・予防

現在イミダゾール系の抗真菌剤 (ケトコナゾール、ミコナゾール、イトラコナゾール等) およびアムフォテリシンBが治療薬である。アムフォテリシンBの抗真菌作用は優れているが、副作用 (肝、腎障害) が強く、使用に当たっては十分な注意が必要とされている。

ヒトからヒトへの感染は通常認められないので、入院患者の隔離は要さない。材料の取り扱いについては、本菌を取り扱っている本人はもとより、周囲の人々に感染を起こす可能性があるため、安全キャビネット内で行わなければならない。

ヒストプラズマ症は感染症法で規定されている真菌感染症ではないが、輸入例だけでなく国内感染例が疑われる報告もあることから、日本でもその存在を疑われる危険な真菌感染症として重要性を認識する必要がある。

(千葉大学真菌医学研究センター病原真菌研究部門 宮治 誠、佐野 文子)



## 読者のコーナー

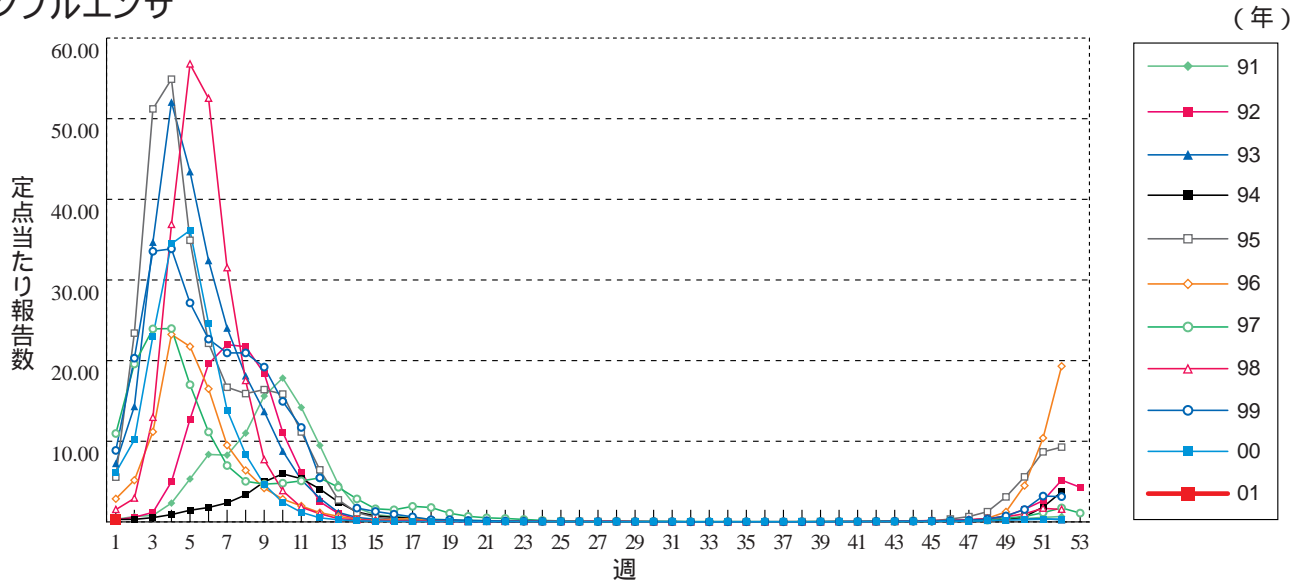
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

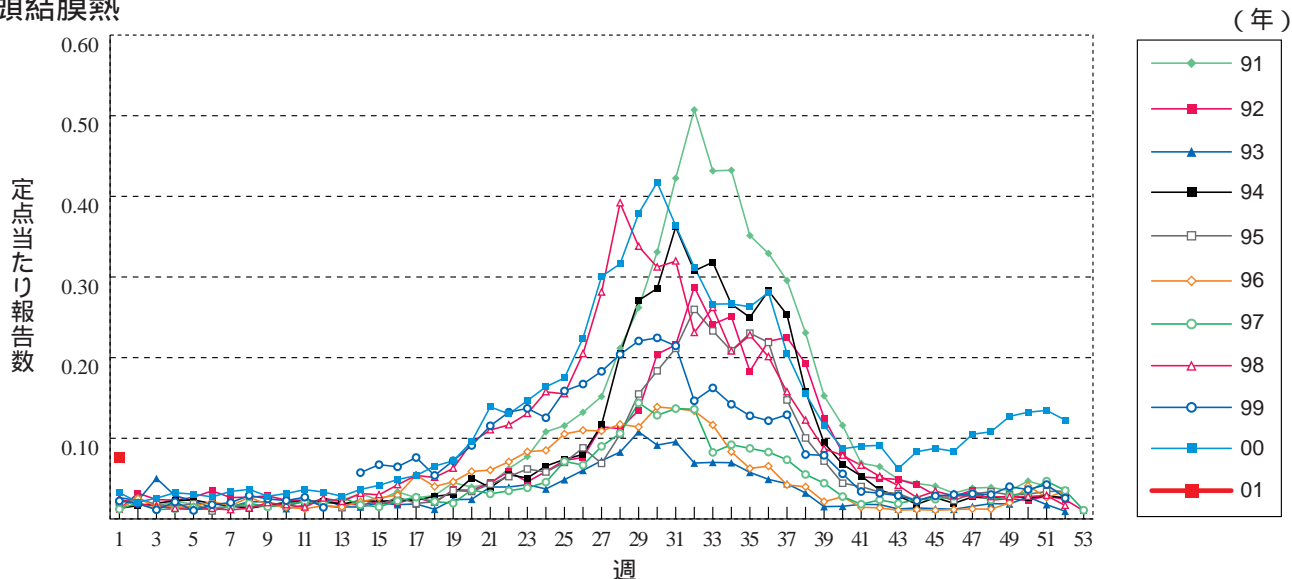


**グラフ総覧(1週)**

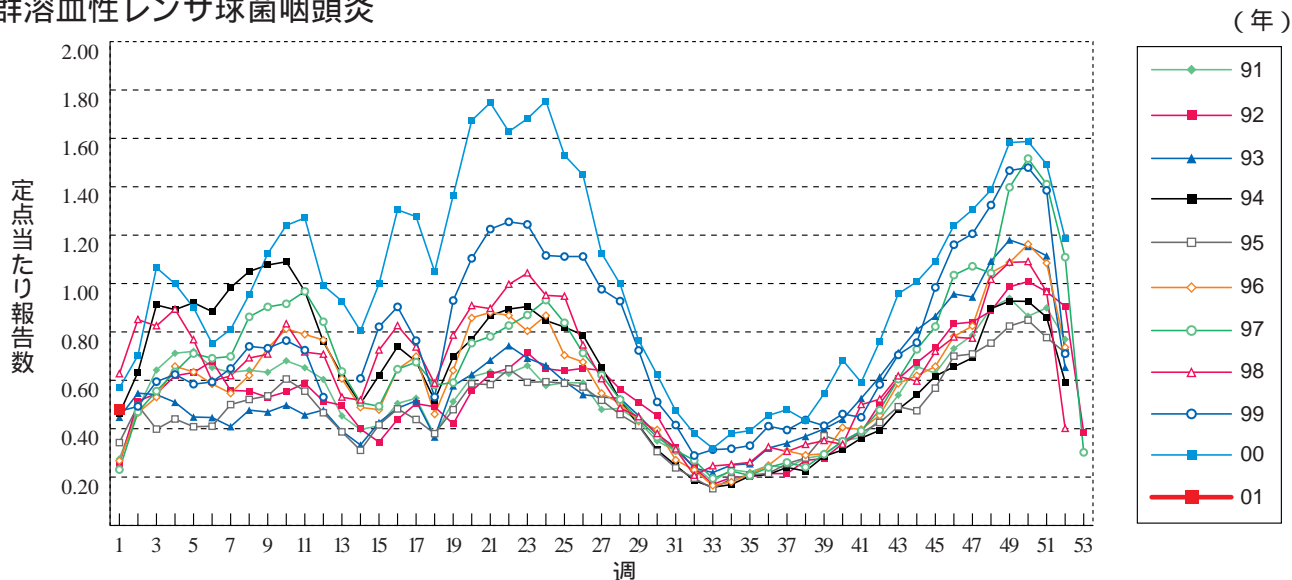
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

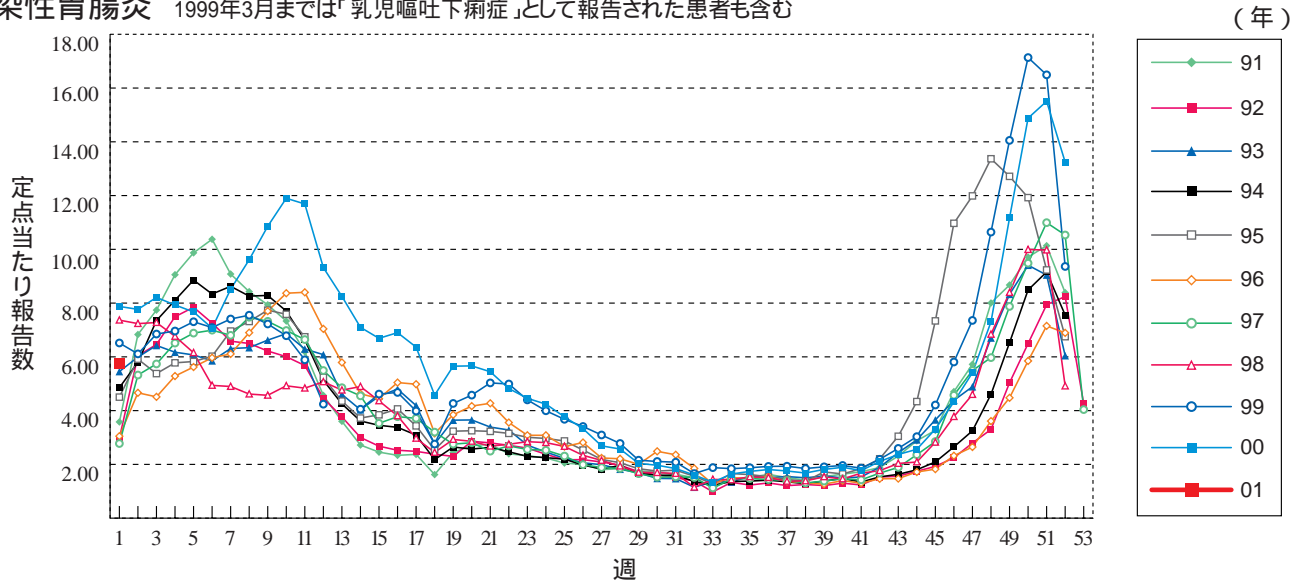


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

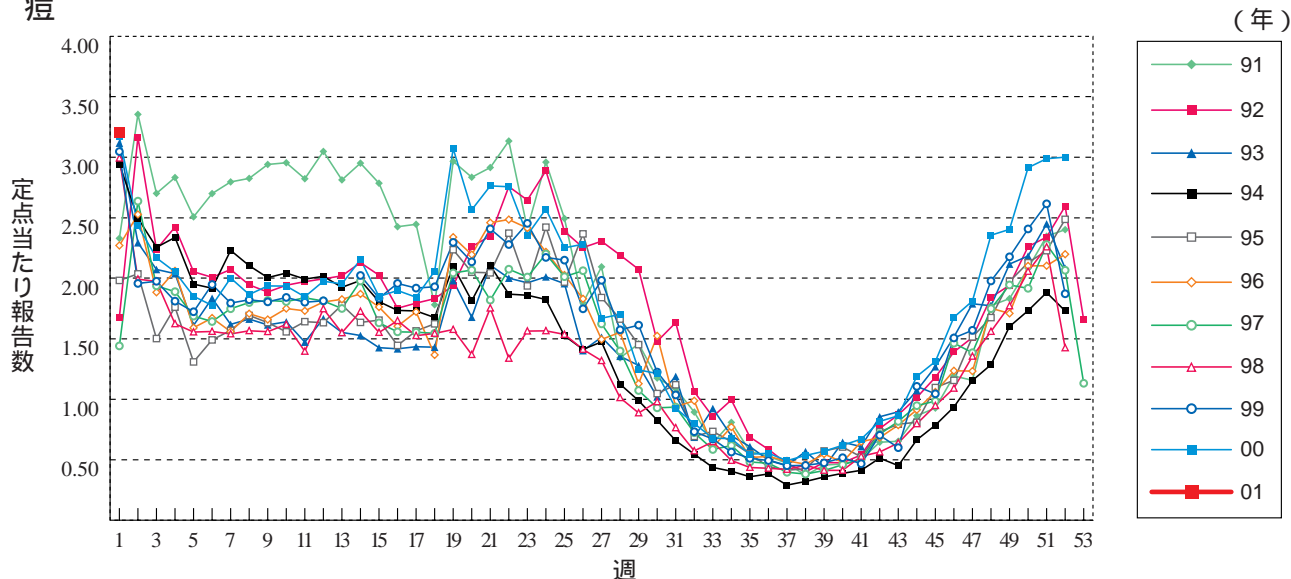




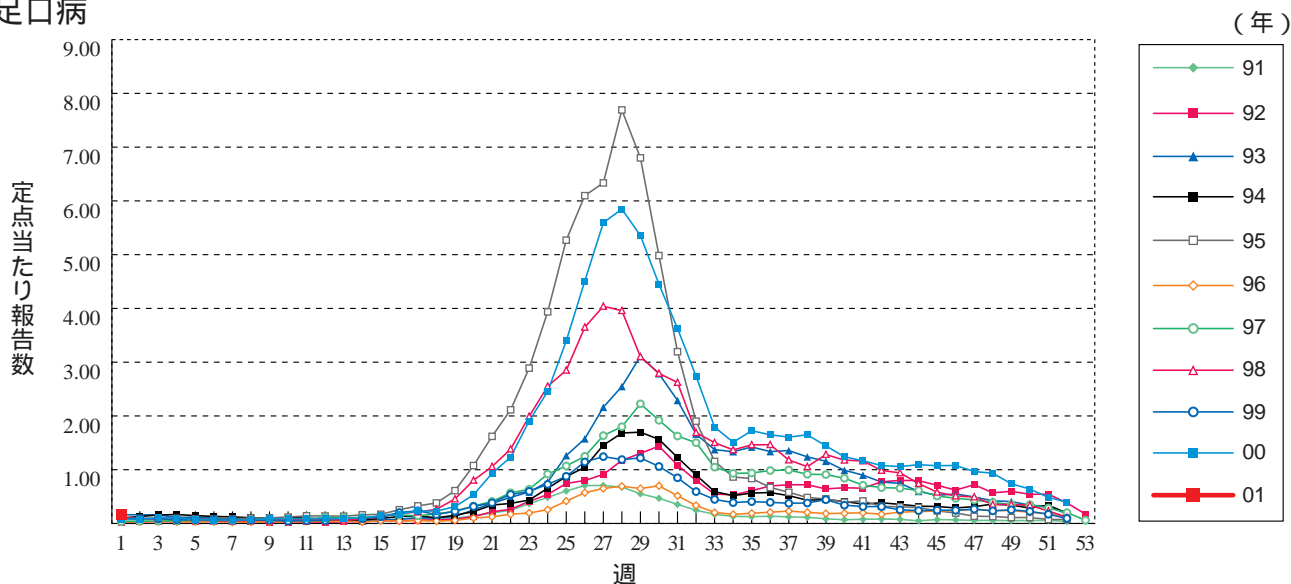
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



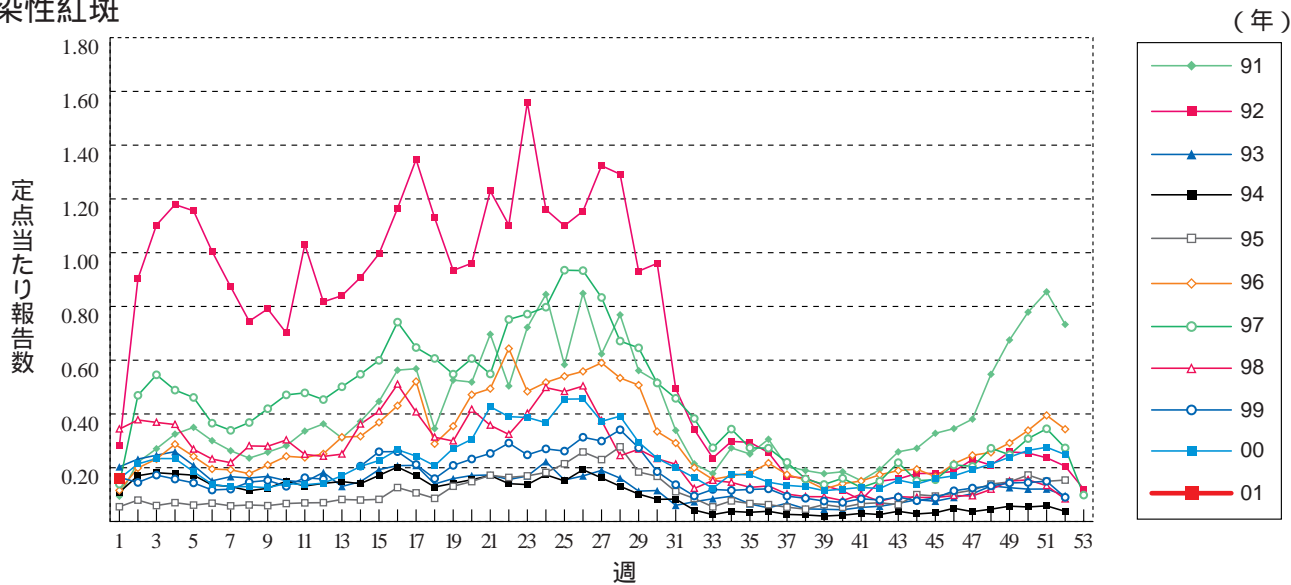
**水痘**



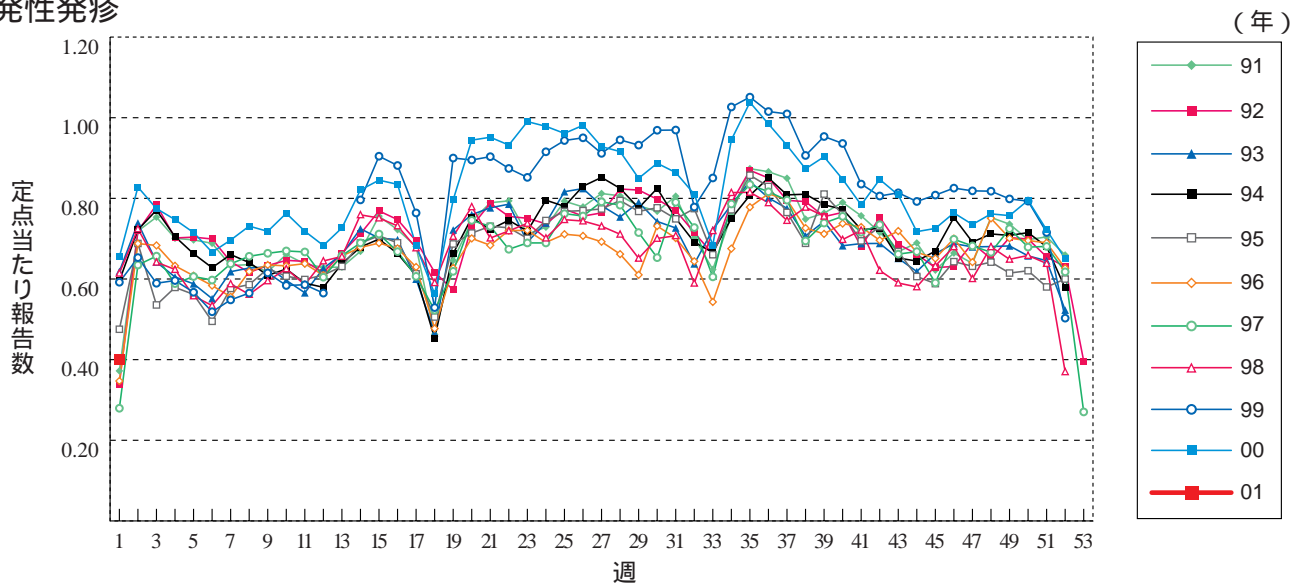
**手足口病**



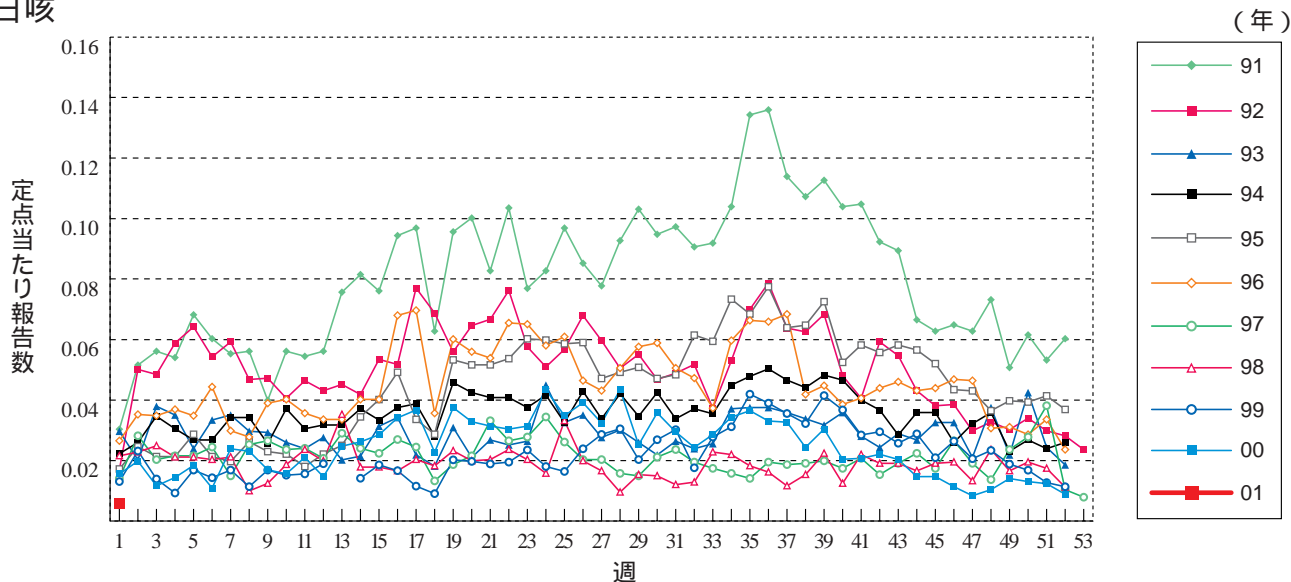
伝染性紅斑



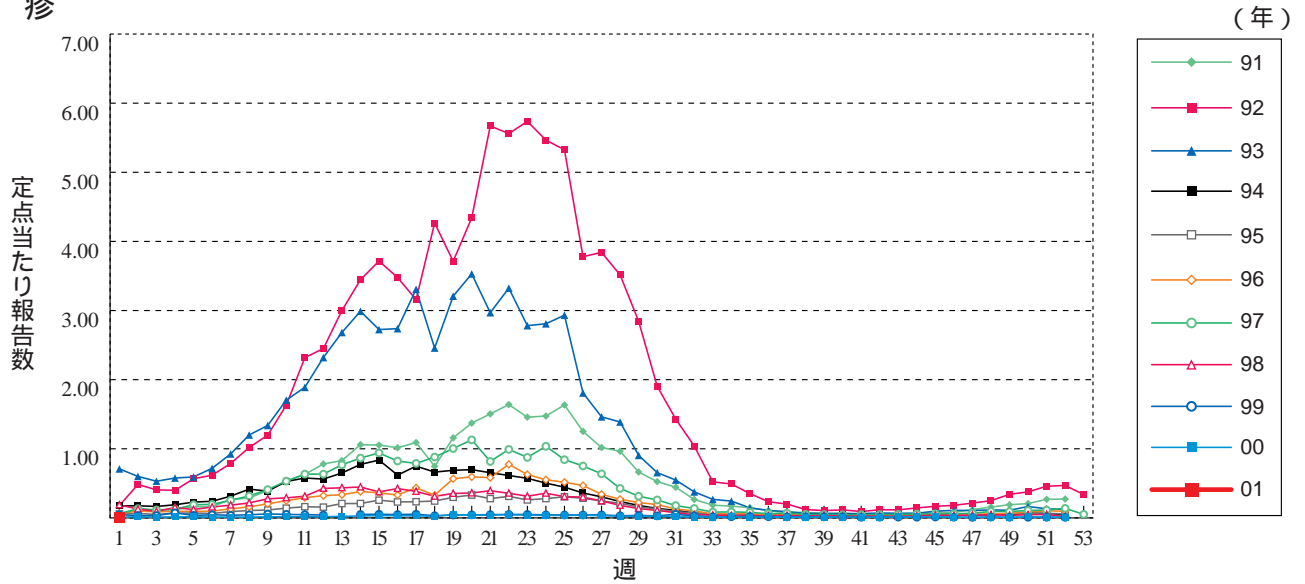
突発性発疹



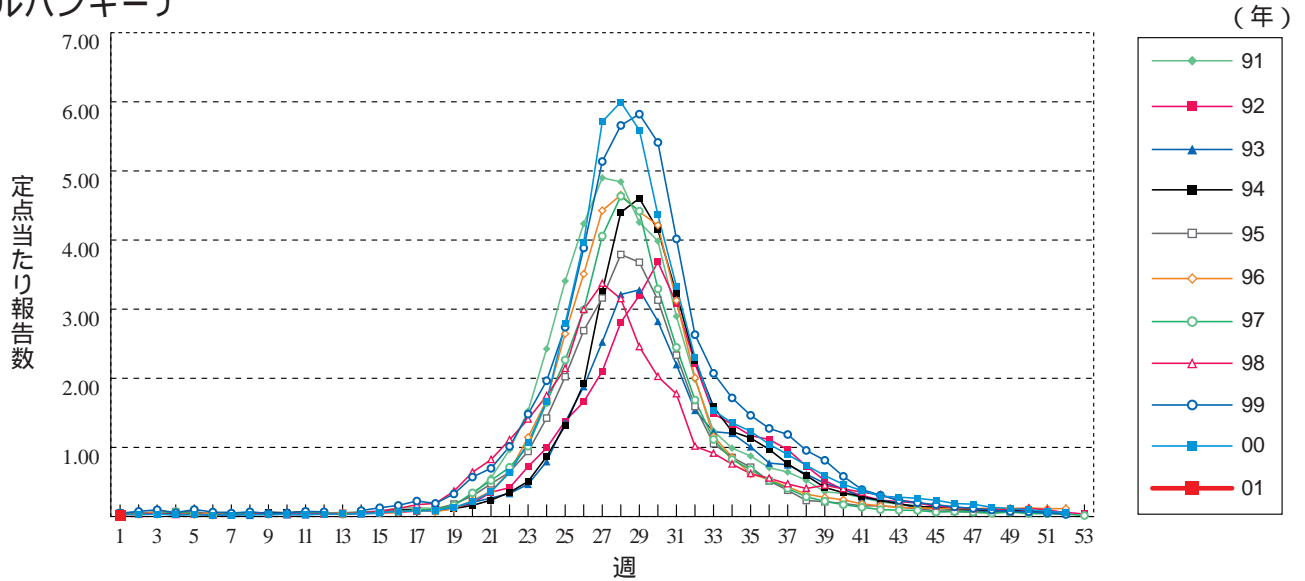
百日咳



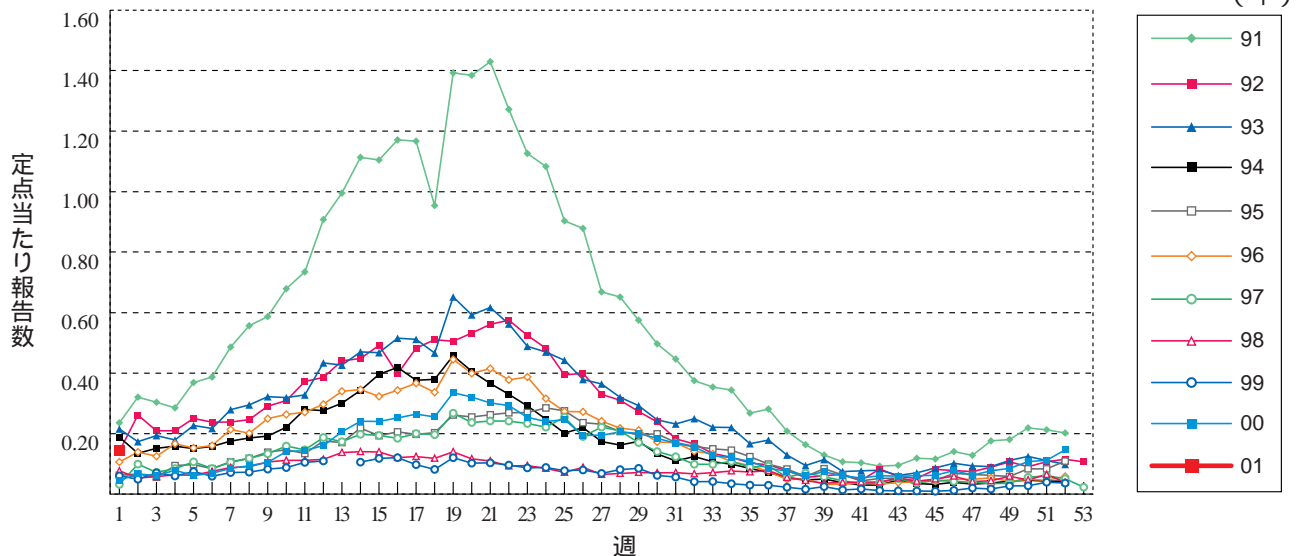
風 疹



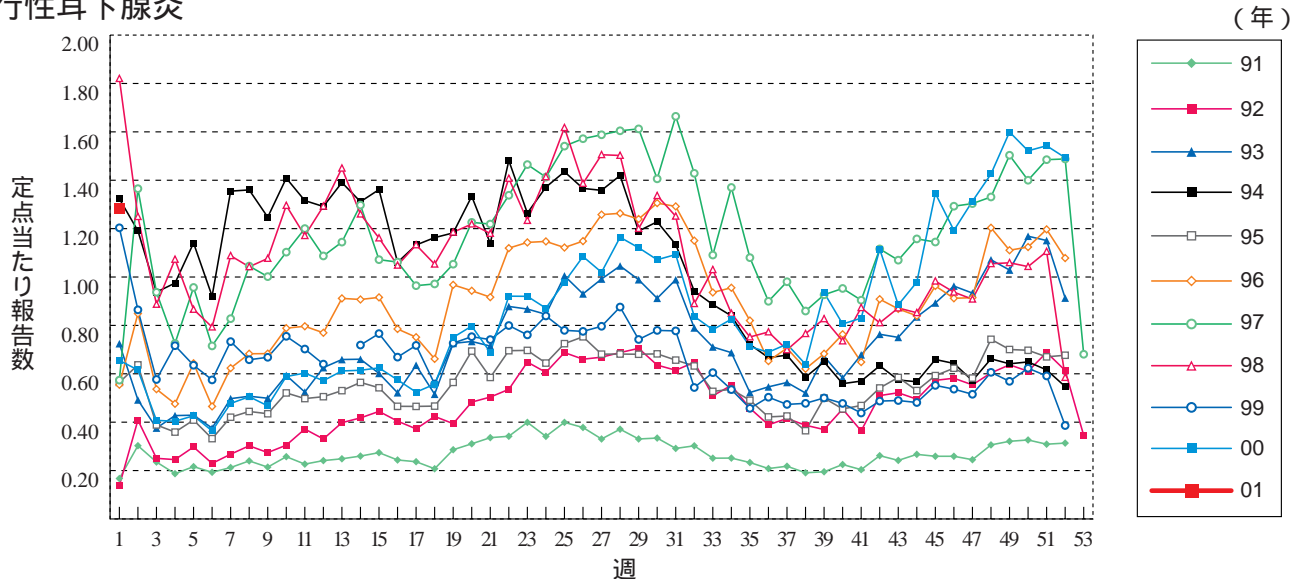
ヘルパンギーナ



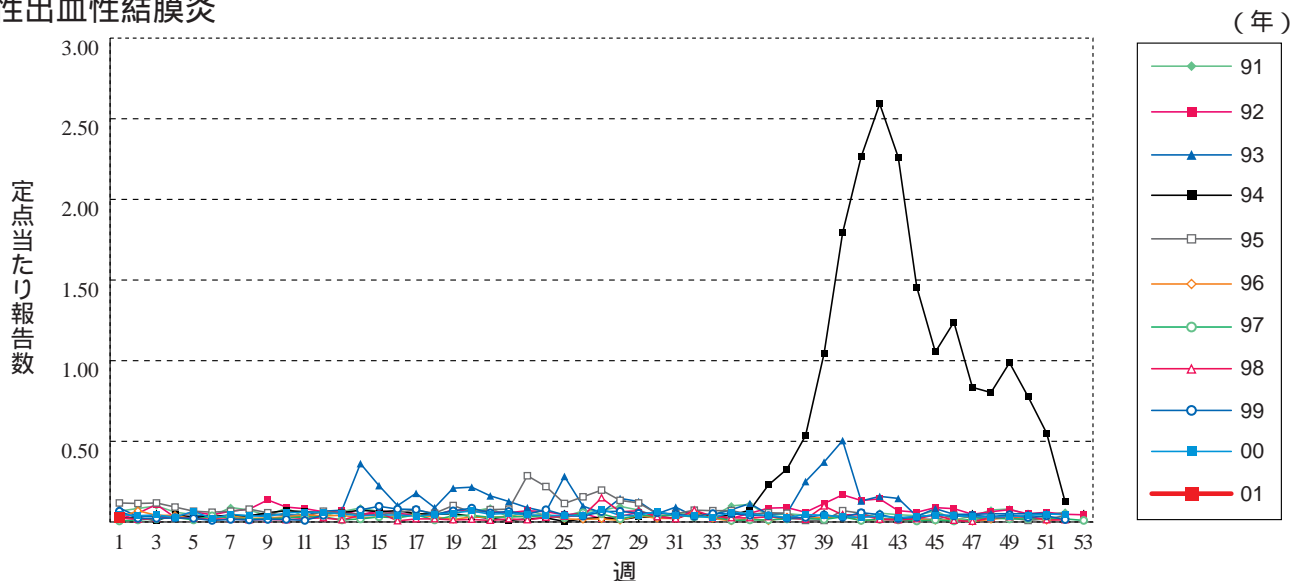
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



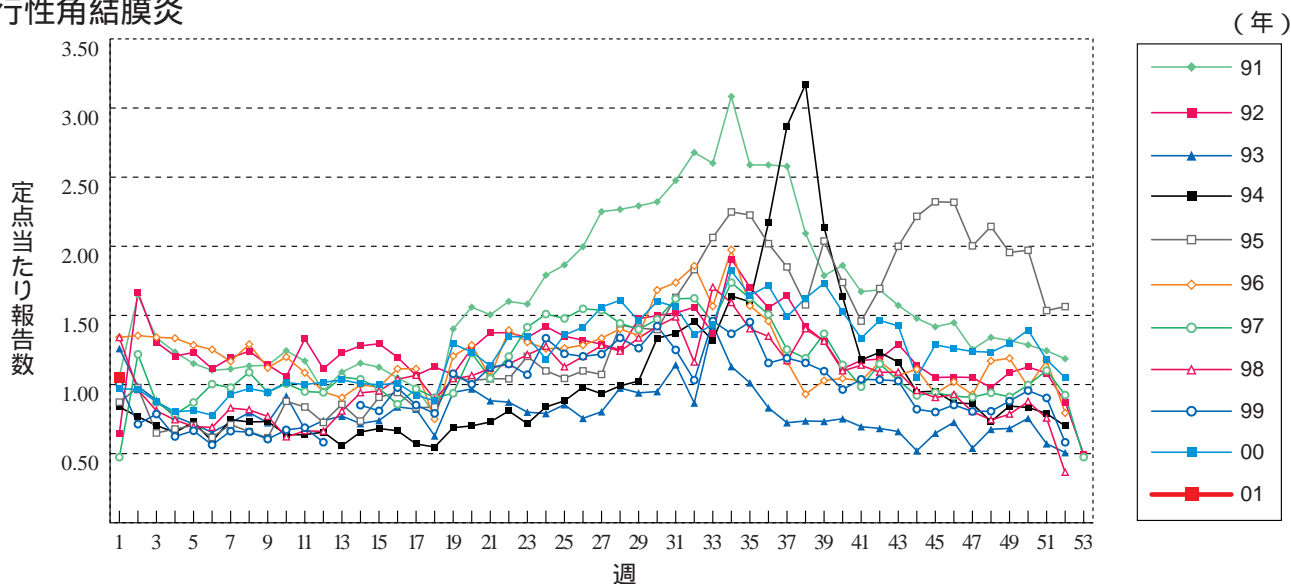
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

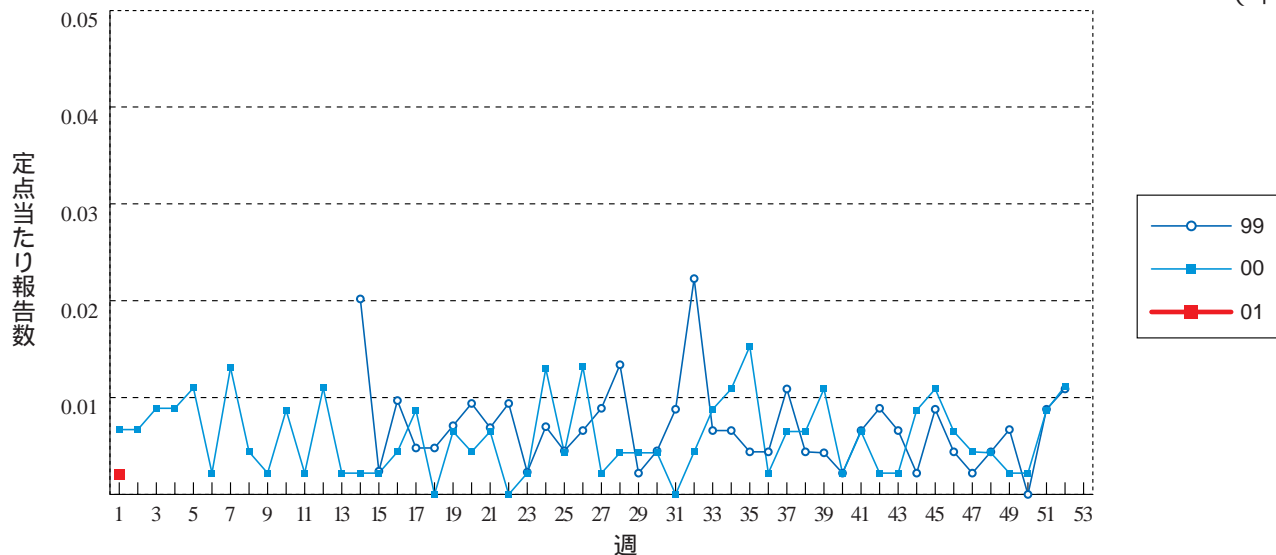


流行性角結膜炎



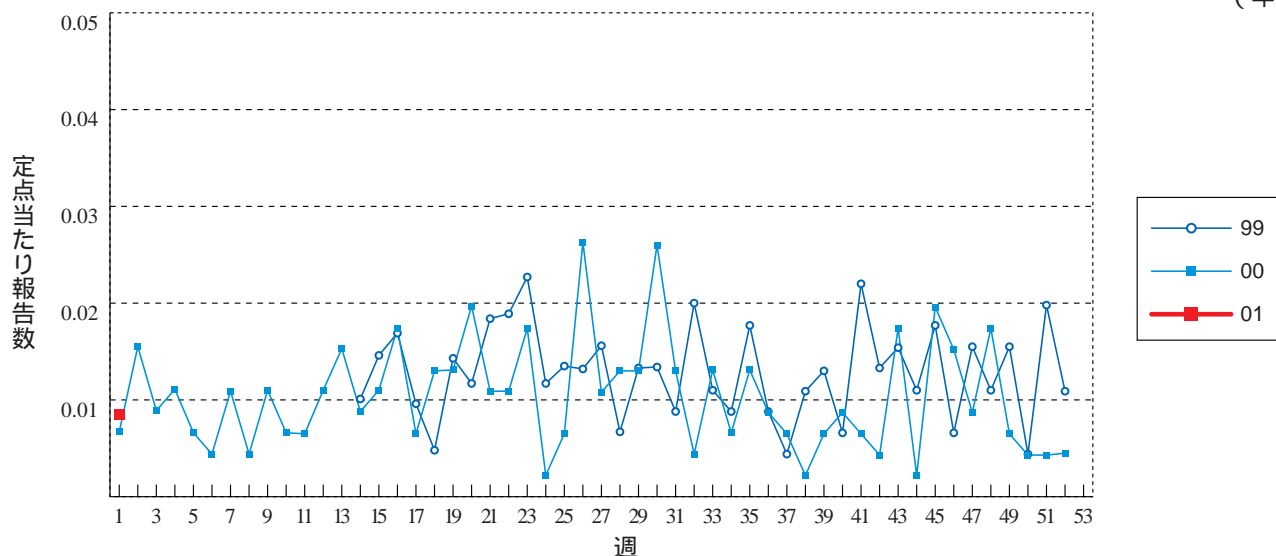
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



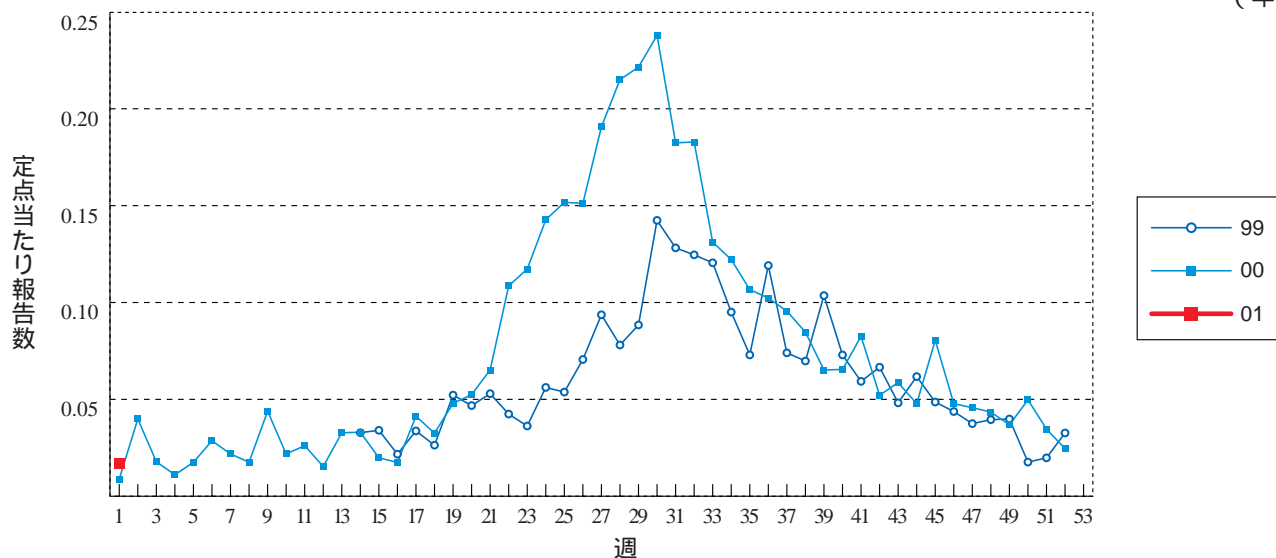
細菌性髄膜炎

(年)



無菌性髄膜炎

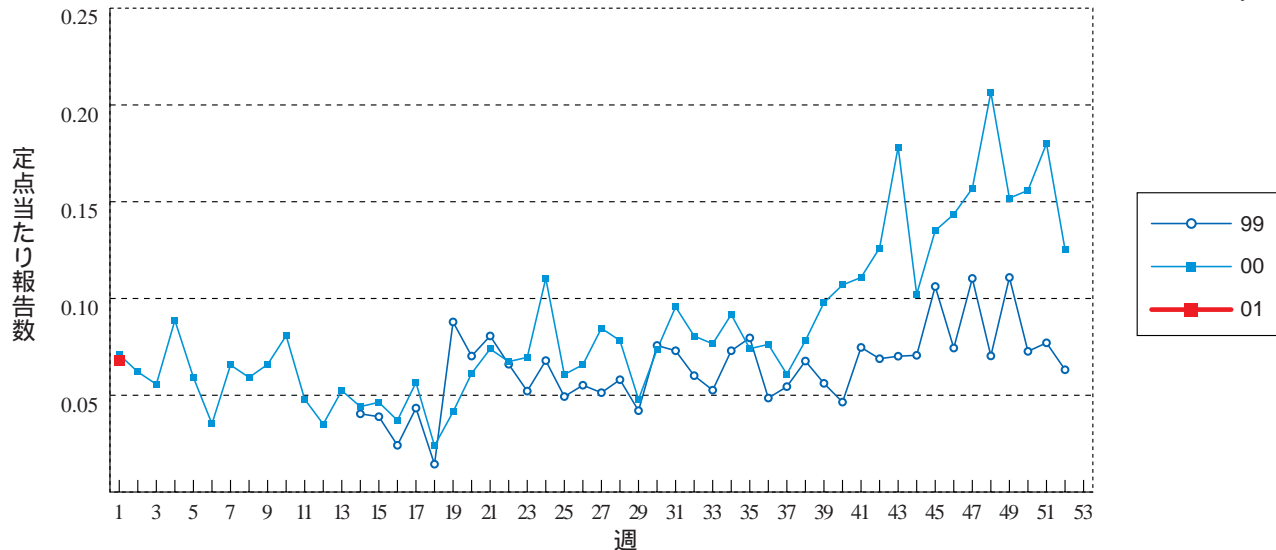
(年)





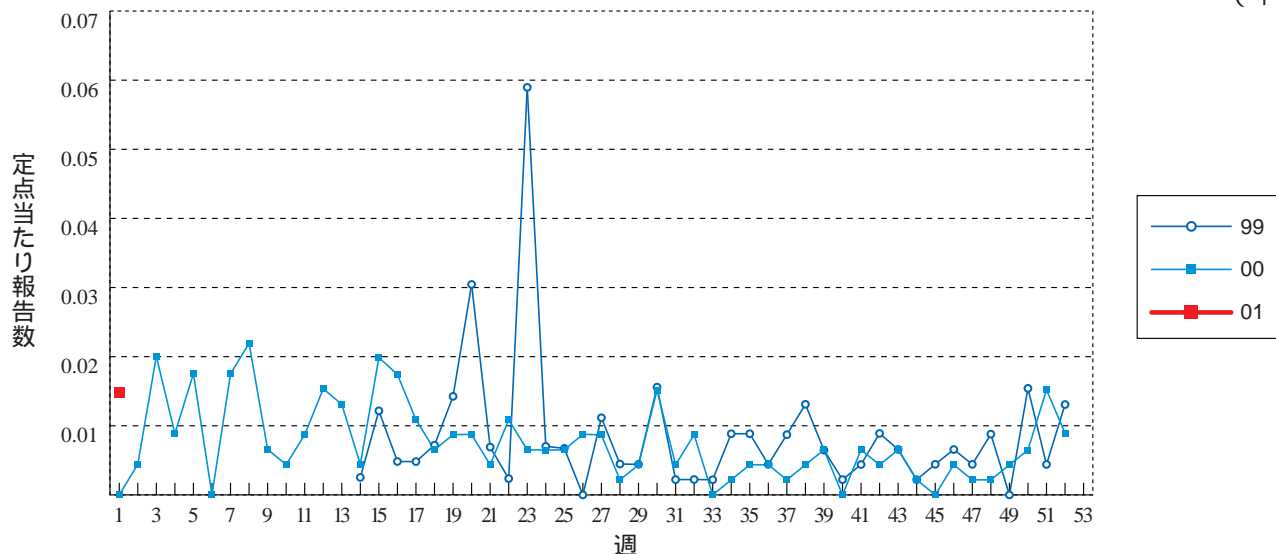
### マイコプラズマ肺炎

(年)



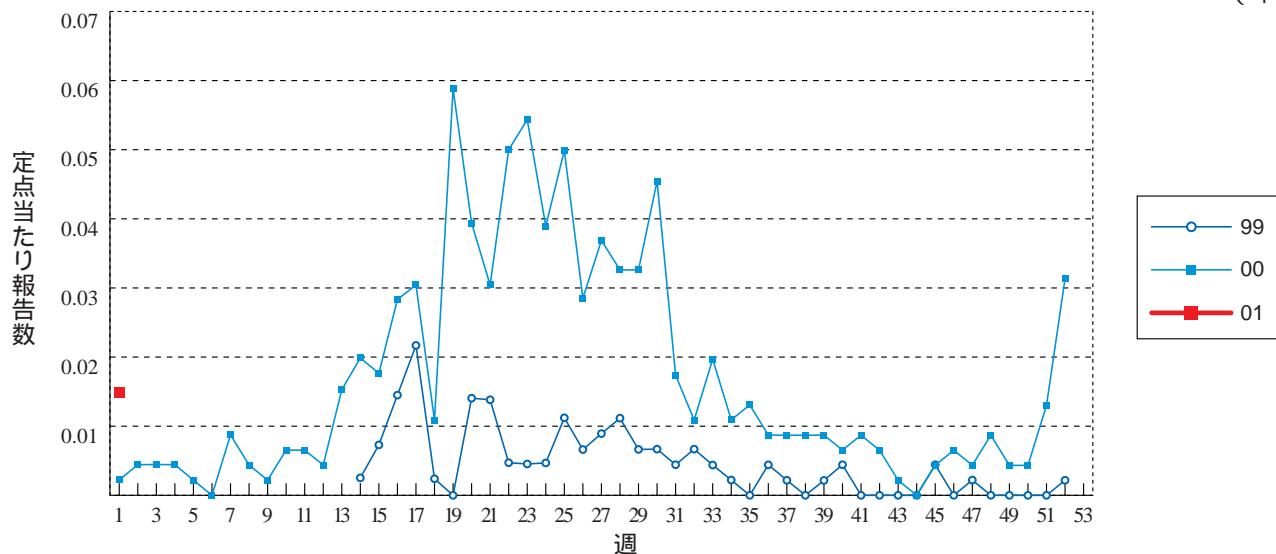
### クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



### 成人麻疹

(年)





## 1週 of データ

注 表中の報告数は1月15日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年1週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	5	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年1週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	-	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年1週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年1週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年1週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年1週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1143	0.25	229	0.08	1431	0.48	17225	5.75	9604	3.21	480	0.16	479	0.16	1202	0.40	17	0.01
北海道	47	0.20	6	0.04	91	0.63	164	1.13	434	2.99	8	0.06	43	0.30	39	0.27	-	-
青森県	10	0.16	-	-	6	0.15	105	2.56	196	4.78	18	0.44	3	0.07	15	0.37	-	-
岩手県	21	0.34	-	-	19	0.50	156	4.11	136	3.58	3	0.08	28	0.74	11	0.29	-	-
宮城県	8	0.08	1	0.02	37	0.63	546	9.25	292	4.95	22	0.37	26	0.44	32	0.54	-	-
秋田県	13	0.24	-	-	20	0.57	227	6.49	147	4.20	3	0.09	-	-	15	0.43	-	-
山形県	5	0.11	6	0.20	27	0.90	166	5.53	130	4.33	-	-	11	0.37	22	0.73	-	-
福島県	5	0.07	-	-	8	0.17	175	3.65	170	3.54	11	0.23	10	0.21	21	0.44	-	-
茨城県	26	0.27	-	-	32	0.43	273	3.64	224	2.99	3	0.04	1	0.01	16	0.21	-	-
栃木県	16	0.23	1	0.02	40	0.87	228	4.96	144	3.13	9	0.20	4	0.09	17	0.37	-	-
群馬県	29	0.29	1	0.02	64	1.03	375	6.05	220	3.55	2	0.03	14	0.23	27	0.44	-	-
埼玉県	78	0.33	11	0.08	63	0.43	976	6.73	478	3.30	10	0.07	41	0.28	45	0.31	1	0.01
千葉県	38	0.19	17	0.13	74	0.57	769	5.96	288	2.23	16	0.12	33	0.26	37	0.29	-	-
東京都	21	0.12	15	0.11	20	0.14	441	3.11	155	1.09	2	0.01	22	0.15	24	0.17	-	-
神奈川県	79	0.25	4	0.02	37	0.18	706	3.48	544	2.68	7	0.03	28	0.14	71	0.35	2	0.01
新潟県	26	0.27	23	0.38	70	1.17	295	4.92	388	6.47	14	0.23	5	0.08	31	0.52	1	0.02
富山県	3	0.06	2	0.07	29	1.00	161	5.55	115	3.97	12	0.41	1	0.03	12	0.41	-	-
石川県	3	0.06	-	-	13	0.45	253	8.72	89	3.07	7	0.24	2	0.07	5	0.17	-	-
福井県	1	0.03	4	0.18	23	1.05	220	10.00	75	3.41	12	0.55	1	0.05	13	0.59	-	-
山梨県	5	0.12	1	0.04	2	0.08	92	3.68	57	2.28	2	0.08	1	0.04	7	0.28	-	-
長野県	53	0.62	1	0.02	40	0.74	365	6.76	253	4.69	5	0.09	4	0.07	23	0.43	-	-
岐阜県	15	0.20	1	0.02	17	0.36	142	3.02	126	2.68	15	0.32	2	0.04	16	0.34	-	-
静岡県	38	0.28	39	0.45	33	0.38	671	7.80	300	3.49	12	0.14	19	0.22	50	0.58	1	0.01
愛知県	71	0.37	7	0.04	73	0.40	743	4.08	657	3.61	46	0.25	31	0.17	64	0.35	1	0.01
三重県	14	0.26	-	-	16	0.43	509	13.76	122	3.30	7	0.19	10	0.27	28	0.76	-	-
滋賀県	6	0.13	1	0.03	27	0.87	119	3.84	76	2.45	5	0.16	1	0.03	8	0.26	-	-
京都府	28	0.22	2	0.03	22	0.29	204	2.68	121	1.59	3	0.04	4	0.05	28	0.37	-	-
大阪府	60	0.23	14	0.07	48	0.25	599	3.14	404	2.12	12	0.06	11	0.06	49	0.26	6	0.03
兵庫県	37	0.19	6	0.05	46	0.36	631	4.93	376	2.94	14	0.11	13	0.10	57	0.45	-	-
奈良県	10	0.18	-	-	6	0.17	133	3.80	108	3.09	-	-	-	-	6	0.17	-	-
和歌山県	15	0.31	-	-	11	0.35	164	5.29	141	4.55	-	-	-	-	10	0.32	-	-
鳥取県	6	0.21	-	-	47	2.47	167	8.79	93	4.89	-	-	-	-	9	0.47	-	-
島根県	19	0.50	8	0.35	2	0.09	182	7.91	121	5.26	5	0.22	-	-	4	0.17	-	-
岡山県	17	0.20	7	0.13	27	0.50	329	6.09	148	2.74	6	0.11	2	0.04	20	0.37	1	0.02
広島県	19	0.16	3	0.04	30	0.40	590	7.87	217	2.89	6	0.08	12	0.16	32	0.43	-	-
山口県	4	0.06	6	0.12	24	0.49	495	10.10	192	3.92	10	0.20	4	0.08	35	0.71	-	-
徳島県	13	0.34	-	-	29	1.26	218	9.48	74	3.22	6	0.26	-	-	9	0.39	1	0.04
香川県	26	0.51	3	0.09	10	0.31	461	14.41	62	1.94	2	0.06	1	0.03	22	0.69	-	-
愛媛県	6	0.09	8	0.21	32	0.82	426	10.92	135	3.46	4	0.10	-	-	26	0.67	-	-
高知県	5	0.10	2	0.06	18	0.58	158	5.10	70	2.26	3	0.10	1	0.03	16	0.52	-	-
福岡県	92	0.56	5	0.05	78	0.74	1028	9.79	440	4.19	45	0.43	39	0.37	72	0.69	2	0.02
佐賀県	4	0.10	-	-	15	0.65	225	9.78	105	4.57	14	0.61	10	0.43	16	0.70	-	-
長崎県	10	0.15	-	-	6	0.13	188	3.92	171	3.56	13	0.27	2	0.04	13	0.27	-	-
熊本県	9	0.11	7	0.14	14	0.29	383	7.82	181	3.69	17	0.35	15	0.31	31	0.63	1	0.02
大分県	15	0.26	1	0.03	26	0.79	541	16.39	147	4.45	4	0.12	3	0.09	32	0.97	-	-
宮崎県	10	0.17	11	0.30	36	0.97	577	15.59	228	6.16	12	0.32	17	0.46	31	0.84	-	-
鹿児島県	85	0.87	5	0.08	19	0.32	620	10.33	182	3.03	3	0.05	3	0.05	30	0.50	-	-
沖縄県	22	0.38	-	-	4	0.12	29	0.85	72	2.12	50	1.47	1	0.03	5	0.15	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年1週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	28	0.01	58	0.02	427	0.14	3849	1.29	17	0.03	663	1.05	1	0.00	4	0.01	8	0.02
北海道	-	-	1	0.01	32	0.22	252	1.74	-	-	29	1.00	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	-	-	1	0.02	68	1.66	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	-	-	1	0.03	6	0.16	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	2	0.03	17	0.29	19	0.32	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1	0.03	14	0.40	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	2	0.07	1	0.03	1	0.03	23	0.77	-	-	6	0.75	-	-	-	-	1	0.11
福島県	-	-	-	-	18	0.38	19	0.40	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	0.01	65	0.87	3	0.19	54	3.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	1	0.02	3	0.07	23	0.50	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	3	0.05	78	1.26	-	-	46	3.29	-	-	-	-	-	-
埼玉県	5	0.03	4	0.03	12	0.08	396	2.73	1	0.03	33	0.97	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	2	0.02	1	0.01	219	1.70	-	-	56	1.75	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	1	0.01	7	0.05	93	0.65	-	-	12	0.86	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.01	-	-	41	0.20	289	1.42	-	-	35	0.88	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	1	0.02	-	-	-	-	151	2.52	-	-	7	0.78	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	-	-	1	0.03	5	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	-	-	10	0.34	-	-	8	1.14	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.05	-	-	-	-	87	3.95	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	3	0.12	7	0.28	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	40	0.74	2	0.20	15	1.50	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	-	-	1	0.02	31	0.66	1	0.09	9	0.82	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	6	0.07	154	1.79	-	-	24	1.20	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	3	0.02	5	0.03	231	1.27	-	-	10	0.29	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.03	1	0.03	100	2.70	-	-	5	0.50	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	-	-	-	-	21	0.68	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	-	-	44	0.58	-	-	21	1.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	9	0.05	19	0.10	237	1.24	1	0.02	15	0.26	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	0.01	2	0.02	99	0.77	-	-	19	0.54	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	40	1.14	33	0.94	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	2	0.06	1	0.03	5	0.16	12	0.39	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1	0.05	17	0.89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1	0.04	34	1.48	1	0.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	1	0.02	1	0.02	28	0.52	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	3	0.04	5	0.07	50	0.67	-	-	13	0.65	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	13	0.27	133	2.71	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	-	-	6	0.26	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	52	1.63	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	-	-	44	1.13	-	-	15	2.14	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	3	0.10	63	2.03	31	1.00	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	0.02	1	0.01	44	0.42	221	2.10	-	-	44	1.83	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	48	2.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	1	0.02	49	1.02	8	0.80	14	1.40	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	2	0.04	5	0.10	209	4.27	-	-	13	1.44	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	4	0.12	23	0.70	31	0.94	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	3	0.08	7	0.19	27	0.73	-	-	20	5.00	1	0.14	1	0.14	-	-
鹿児島県	2	0.03	3	0.05	32	0.53	14	0.23	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	9	0.26	29	0.85	-	-	15	1.50	-	-	2	0.29	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年1週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	32	0.07	7	0.01	7	0.01
北海道	-	-	-	-	1	0.04
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	2	0.10
宮城県	6	0.50	2	0.17	-	-
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	0.22	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	-	-
東京都	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.17	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	4	0.36	3	0.27	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	1	0.13	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	2	0.10	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	2	0.13	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	1	0.14

感染症週報 第3巻、第1号 平成13年1月19日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。